



木山 記



子どもたちの様子

2月は旧暦で「如月(きさらぎ)」とも言います。如月の由来は諸説あるようですが、「木更津(寒さゆえに、着物を重ね着たという意味)」がもとになっている説があるそうです。この季節、大人たちは重ね着で寒さに耐えています。子どもたちは半袖の子もいるくらい、寒さを吹き飛ばすくらいに元気に遊んでいます。

新年を迎え最初の登壇日には有鹿神社へ初詣に行き、前の年の感謝と、虫工の子クラブにとって新年が良い年になるようお参りしてきました。

1月5日には、玄米のお粥にフリーズドライの七草を混ぜた七草粥を、今年一年の無病息災を祈りながら食べました。本物の春の七草を用意して上級生に展示してもらい、実際に七草に角刈れるいい機会となりました。

天気の良い日には公園へ行き、サッカーや鬼ごっこで体を動かしたり、砂場でトンネルを作ったりしています。室内では、園長先生からいただいたバスケットゴールで遊んだり、牛乳パックでブンゴマやリリアン編み機を作ったり、マフラーを編んだりして過ごしています。



まだまだ乾燥が気になる時期です。感染症、風邪やインフルエンザに負けず、予防に気を配りながら元気に過ごしたいと思います。

2月の予定

- 3日(土) 入所説明会
9:30~ 扇町虫工の子クラブ
節分
- 13日(水) 剣道
16:00~16:30



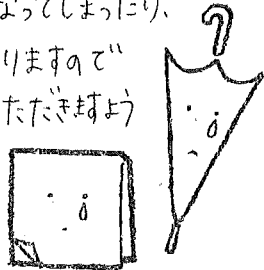
お知らせ・お願い

①一人り帰りについて
* 2月1日(木)より最終一人り帰りが
17:00に戻ります。

* 学童からの一人り帰りのシート
ご提出いただいているシートを今一度
お子さまと一糸着に確認してください。

持ち物には記名をお願ひします
* 持ち主が分からない忘れ物が多くなっています。同じような物を持っている人も多く、名前が記名がないと誰の物か分からずお返しするのが遅くなってしまったり、紛失の原因にもなりますので、名前を記入をしていただきます。

ご協力の上、お願ひいたします。



園長先生より

紅、白梅が咲き始め、春を感じはせ、まだ未だ気温の差が激しいこの流行性の病気に気を付けて参りましょう。三学期は総の振り返りもありますので、一学期の間で進級に向けて不安を感じる学科を見直ししてみるのも大切かと思ひます。学童は、学校から帰りの余科の時分、学校から家庭に戻るとの時分、縦の繋がりを大切な園りとして、学んでほしいと思ひます。年上と年下の園りは学童であるからその学習の場と考へています。(米田記)